

愛媛県県立学校振興計画「第1回地域説明会（新居浜地区）」での 主な御意見等について

令和4年8月6日～21日において、「愛媛県県立学校振興計画」策定の目的や計画（案）の内容などについて説明する第1回地域説明会を8地区で開催しました。本地区における主な御意見等については、以下のとおりです。

項目	主な御意見等	県教育委員会の考え方
計画全般	前期計画では、学校数は維持し、3学級の減となっているだけで、地域の実態に合った魅力化ができていない。思い切って統合し、核になる学校を作ってもいいのではないか。	地域協議会等での議論を踏まえ、当地域の各校は、少なくとも前期期間中はほぼ現行のままでいくことが適当とされております。ご指摘の点は、後期計画策定の際、改めて検討したいと考えております。
教員配置	県全体で特色ある学科やコースを編成しているが、対応できる教員はいるのか。	健康スポーツ科については、すでに設置している健康スポーツコースを充実させる予定ですので、十分に対応できると考えております。その他の特色ある学科やコースについても、新たな教員の採用や、大学・地元自治体・企業等との連携などにより、万全の態勢に向けて準備を進めることとしております。
新居浜東	健康スポーツ科のカリキュラムは、大学進学に対応できるのか。	現在の健康スポーツコースにおいても、大学進学も含め多様な進路実現をしております。学科となり1年次から学ぶことで、更なるレベルアップを図ることができると考えております。
	健康スポーツ科については、同時に部活動をレベルアップさせることについても視野に入れているのか。	健康スポーツ科を設置したのは、希望する生徒が多かったことに加え、地域協議会において、「スポーツ分野に優れた選手が松山の私学へ流出しており、地域に生徒の受け皿がほしい」との要望が出たことも踏まえての措置であり、部活動への好影響も期待されるところです。
新居浜工業	本地区は工業系の企業が多く、事業主から雇用できる生徒が少ないという訴えが出ている。工業高校の定員を増やしてほしいという要望が地域協議会で出ていたが、新居浜工業については、前期計画で1学級の減となっており、その理由を教えてください。	地元経済界等からの声は承知しておりますが、新居浜工業高校については、過去5年間の平均志願倍率が0.84倍となっており、生徒の志望傾向に基づく定員割れが続いていることを踏まえてのやむを得ない措置であり、ご理解をお願いします。
	新居浜高専がPR活動に成功し、志願者が増え、学力レベルも上がったという事例があるが、新居浜工業高校についても、学校からのPRを積極的に行い、志願者を増やしてほしい。	学校の魅力化を図るとともに、そのことをしっかりPRすることは大切です。県内の全国募集実施校が自校の魅力をSNSなどで情報発信し成果を上げており、そのノウハウ等をその他の学校にも普及させていきたいと考えております。
部活動	中学校では部活動の地域移行の話が進んでいるが、今回の再編に伴う部活動の体制づくりについて、どのように考えているのか。	高校の部活動については、今回の計画策定後に、担当課と連携を図りながら、地域移行も含めた改革について、検討を進めていきたいと考えております。